

## 全国高速道路建設協議会第五十五回総会決議

高規格幹線道路網一万四〇〇〇キロメートルは、我が国の産業発展に資するとともに、大規模災害時における広域支援ルートとして国民の命を守る社会資本の要である。利用の信頼性と安全性が高い高速道路ネットワークの構築に向け、ミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化などを早期に実現し、ストック効果の早期発揮につなげるとともに、安全・安心対策、国土強靱化や老朽化対策を着実に推進するため、全国高速道路建設協議会では、地方の総意として、次の事項を強く要望する。

- 一、高規格幹線道路網一万四〇〇〇キロメートルの早期整備
- 一、事業中区間の整備スピードアップと開通時期の早期提示
- 一、未事業化区間の計画段階評価などの速やかな実施と早期事業化
- 一、地域の実情を反映させた「安全・安心計画（仮称）」を策定した上で、暫定2車線区間の4車線化や正面衝突事故防止対策、逆走対策をはじめとする安全対策の早期実現
- 一、物流の主要幹線である新東名・新名神の6車線化や休憩施設の拡充等による機能強化
- 一、跨道橋等の横断構造物も含め、高速道路ネットワークの耐震強化
- 一、大規模更新・大規模修繕の計画的な実施
- 一、大都市周辺の恒常的な渋滞区間におけるピンポイント渋滞対策等の実施
- 一、アクセス道路を含めたスマートICや民間施設直結スマートICの整備、一時退出サービスの拡充、SA・PAの整備・防災拠点化など地域との連携
- 一、高速道路のナンバリングなど訪日外国人旅行者も含めた利用者が安心して快適に高速道路を利用できる環境の整備
- 一、国が管理する無料の高速道路における維持管理を確実に実施するための予算の確保

高速道路ネットワークの整備や頻発する災害に備えた防災・減災対策、老朽化対策を含め、長期安定的に道路整備・管理が進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和2年度予算では道路関係予算を拡大した上で、所要額を確保すること。

令和元年五月二十一日

全国高速道路建設協議会会長

尾崎 正直